



# グローバル社会に向けての教育と大学入試改革

紙面採録

グローバル人材の育成がさげられる昨今、2020年に控えた大学入試改革に関する情報を伝える「朝日未来教育シンポジウム」が9月9日、朝日ホールで開催されました。最初に、0歳からの早期グローバルリーダー教育を展開するエコール・ドゥ・アンファン理事長で、教育評論家の安田龍男氏が講演。続いてのパネルディスカッションでは、小学校・中学校・高校の校長先生と文部科学省の国際教育担当者を迎え、各校の方針やこれからの学校教育を語っていただきました。

## オープニングスピーチ

## 「グローバル社会に向けての入試改革」

5つの力を念頭に、楽しく子育てし、子どもが楽しく成長できることが重要です。また、私たち教育者は「ティーチャー」ではなく能力を引き出す「エデュケーター」であるべきと考えます。

先日の経団連会長による就活ルー ル撤廃宣言が話題になっていますが、優秀な学生は勉強もしつかりながら早期に内定を得ているのが実状です。では、優秀な人材にはどんな力があるのでしょうか？ 私は、「学力」、「体力」、「人間力」、「英語・国語力」、「人脈力」と考えます。グローバル社会に向けて大学入試が変わります。しかしこの5つの力があればグローバル社会でリーダーとして活躍できます。

次に体力で、心身ともに健康でなくてはなりません。精神面の健康を保つにも幼少期の過ごし方が大切です。そして、文化的な背景も性格も違う世界の人と対等に渡り合うには、人間力が必須。その要素である分析力・決断力・行動力を日常の中でつけていく必要があります。グローバルという思い浮かぶのは英語力ですが、英語はいつからでも学べます。その前に国語力を「コミュニケーション力やプレゼンテーション力と併せて養うべきです。国語力を身につけるには、保護者の方がともに本や新聞を読み、感想や意見を話し合うことも有効です。人脈力は学校や習い事でもつづため、学校・教室選びも大切。海外に友だちをつくることで世界に人脈が広がります。

学力の基本は勉強ですが、AIが浸透する中、やみくもな暗記はもう要りません。求められるのは、大学入試でも問われる、知識を知識に変えて活用する力。知識を詰め込むような塾も不要になり、一方、より必要になるのは楽しく主体的に学習する力を育てることです。論語にある言葉「知好楽」は、知識がある人よりも好きな人、さらに楽しくて仕方がない人が学問を究められるという意味です。自ら楽しく学べる子が強いのです。

小幡 大学入試は教育すべき中身に依りて変わる必要があり。学習指導要領では英語は読む、聞くだけでなく、話す、書くも含めた4技能を育成することとされています。指導と評価の一体化の一環である高大接続改革の結果、大学入試改革です。大きく変わるの2つ。センター試験に代わる共通テストで、英語は読む・聞くに話す・書くを加えた4技能が民間試験の活用で評価されるようになります。高3の4〜12月に民間試験を2回受けその結果を大学に送付します。もうひとつは国語数学での記述式問題の導入です。知識を使う、社会で役立てられることを評価するのがその大きな方向性です。

安田 対する各校の方針、対策を教えてください。

西脇 南山小の教育は大学入試のためではなく、教育モットー「人間の尊厳のためにかけがえのないあなたとわたしのために」と児童中心主義のスタイルを追求していく方針です。以前から学力の3要素のうち主体性・多様性・協働性を特に重視し、遊びの充実、自主学習ノートを介した教師との知的

な対話活動や行事、異学年交流などを推進。思考力・判断力・表現力も伸ばしています。知識・技能に関しては、国語算数の「がんばりタイム」を毎日積み重ね、確認・サポーター、個別対応も実施しています。



教育評論家/エコール・ドゥ・アンファン理事長 安田龍男氏

## パネルディスカッション

## 「将来のグローバルリーダーと大学入試改革」



南山大学附属小学校 校長 西脇良先生

地球規模の視点で実践する、多様な人と協働できる基盤づくり

西脇 南山小の教育は大学入試のためではなく、教育モットー「人間の尊厳のためにかけがえのないあなたとわたしのために」と児童中心主義のスタイルを追求していく方針です。以前から学力の3要素のうち主体性・多様性・協働性を特に重視し、遊びの充実、自主学習ノートを介した教師との知的

中嶋 名大附属中・高は、国立大附属校として教育モデルを提示する役割があり、自由と自主を尊重して個性と能力を伸ばす、心豊かで主体性のある人間形成、確かな基礎学力、それぞれの生き方をつかませ、自立できる力を育てることを方針に、協同的探求学習や論理的思考力の育成、学習活動と進路選択での有機的結合などを前から行っています。また、文科省スーパーサイエンスハイスクールとスーパーグローバルハイスクールの両方に選ばれ、先進的かつバランスのよい教育を実践しています。

森田 大学入試は教育すべき中身に依りて変わる必要があり。学習指導要領では英語は読む、聞くだけでなく、話す、書くも含めた4技能を育成することとされています。指導と評価の一体化の一環である高大接続改革の結果、大学入試改革です。大きく変わるの2つ。センター試験に代わる共通テストで、英語は読む・聞くに話す・書くを加えた4技能が民間試験の活用で評価されるようになります。高3の4〜12月に民間試験を2回受けその結果を大学に送付します。もうひとつは国語数学での記述式問題の導入です。知識を使う、社会で役立てられることを評価するのがその大きな方向性です。

安田 対する各校の方針、対策を教えてください。

西脇 南山小の教育は大学入試のためではなく、教育モットー「人間の尊厳のためにかけがえのないあなたとわたしのために」と児童中心主義のスタイルを追求していく方針です。以前から学力の3要素のうち主体性・多様性・協働性を特に重視し、遊びの充実、自主学習ノートを介した教師との知的

中嶋 名大附属中・高は、国立大附属校として教育モデルを提示する役割があり、自由と自主を尊重して個性と能力を伸ばす、心豊かで主体性のある人間形成、確かな基礎学力、それぞれの生き方をつかませ、自立できる力を育てることを方針に、協同的探求学習や論理的思考力の育成、学習活動と進路選択での有機的結合などを前から行っています。また、文科省スーパーサイエンスハイスクールとスーパーグローバルハイスクールの両方に選ばれ、先進的かつバランスのよい教育を実践しています。

森田 大学入試は教育すべき中身に依りて変わる必要があり。学習指導要領では英語は読む、聞くだけでなく、話す、書くも含めた4技能を育成することとされています。指導と評価の一体化の一環である高大接続改革の結果、大学入試改革です。大きく変わるの2つ。センター試験に代わる共通テストで、英語は読む・聞くに話す・書くを加えた4技能が民間試験の活用で評価されるようになります。高3の4〜12月に民間試験を2回受けその結果を大学に送付します。もうひとつは国語数学での記述式問題の導入です。知識を使う、社会で役立てられることを評価するのがその大きな方向性です。



- 【パネリスト】 西脇 良先生 [南山大学附属小学校 校長]
- 森田 圭介先生 [名進研小学校 校長]
- 中嶋 哲彦先生 [名古屋大学教育学部附属中学・高等学校 校長]
- ヨセフ・ブルーノ・ダシオン先生 [南山高等学校・中学校 校長]
- 杉山 賢純先生 [愛知県立旭丘高等学校 校長]
- 小幡 泰弘氏 [文部科学省初等中等教育局 国際教育課長]

【コーディネーター】 安田龍男氏 [教育評論家/エコール・ドゥ・アンファン理事長]



名古屋大学教育学部附属中学・高等学校 校長 中嶋哲彦先生

育てたいのは、生き方をつかみとり世界の真実と向き合う勇気ある人

中嶋 リーダーは普通の人のの中に現れ、普通の人とつながり合う人です。そして、本学のスローガンは「勇気ある知識人」ですが、大事なものは勇気、とりわけ事実と向き合い、真実を見極められる

森田 大学入試は教育すべき中身に依りて変わる必要があり。学習指導要領では英語は読む、聞くだけでなく、話す、書くも含めた4技能を育成することとされています。指導と評価の一体化の一環である高大接続改革の結果、大学入試改革です。大きく変わるの2つ。センター試験に代わる共通テストで、英語は読む・聞くに話す・書くを加えた4技能が民間試験の活用で評価されるようになります。高3の4〜12月に民間試験を2回受けその結果を大学に送付します。もうひとつは国語数学での記述式問題の導入です。知識を使う、社会で役立てられることを評価するのがその大きな方向性です。

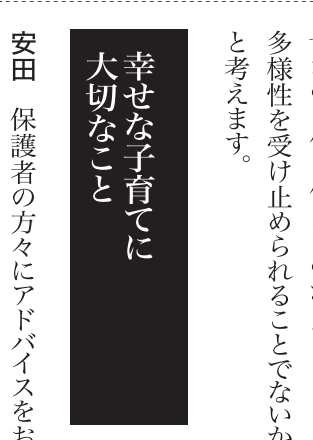
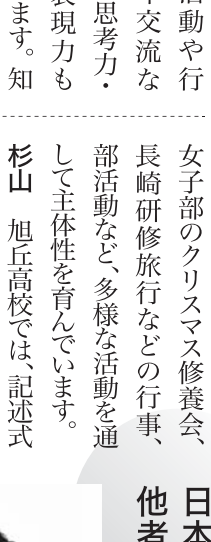
安田 グローバルリーダーの育成にはどのように取り組んでいますか？

西脇 意識すべきは、地球規模の視点での教育・子育て。考えるべきは、我が子の人生の幸せは何であり、何と共にあるのか。人生の根っことなる世界観形成のひとりの視座が、国際社会が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」です。その理念を誰一人取り残さないのは南山の教育モットーそのもの。それに必要な、違いを認め、新しいことをつくっていく力を学校生活の中で養っています。

森田 本学の考えるグローバルリーダー像は、国際社会として自律し、他利の精神で、国際社会に貢献できる人材。国際人とは、自国の伝統や文化を正しく理解し、異文化を理解・尊重する寛容さを持ち合わせた人です。それに加えてコミュニケーション能力と、ツールとしての英語力に重点を置いていきます。能や狂言、茶道・華道といった伝統文化の学習などから日本文化を理解することを初めの一歩に、道徳の授業にソーシャルスキル・トレーニングを導入し、ネイティブの授業や海外研修も実施しています。

中嶋 リーダーは普通の人のの中に現れ、普通の人とつながり合う人です。そして、本学のスローガンは「勇気ある知識人」ですが、大事なものは勇気、とりわけ事実と向き合い、真実を見極められる

森田 大学入試は教育すべき中身に依りて変わる必要があり。学習指導要領では英語は読む、聞くだけでなく、話す、書くも含めた4技能を育成することとされています。指導と評価の一体化の一環である高大接続改革の結果、大学入試改革です。大きく変わるの2つ。センター試験に代わる共通テストで、英語は読む・聞くに話す・書くを加えた4技能が民間試験の活用で評価されるようになります。高3の4〜12月に民間試験を2回受けその結果を大学に送付します。もうひとつは国語数学での記述式問題の導入です。知識を使う、社会で役立てられることを評価するのがその大きな方向性です。



愛知県立旭丘高等学校 校長 杉山賢純先生

幸せな子育てに大切なこと

安田 保護者の方々にアドバイスをお願いします。

中嶋 リーダーは普通の人のの中に現れ、普通の人とつながり合う人です。そして、本学のスローガンは「勇気ある知識人」ですが、大事なものは勇気、とりわけ事実と向き合い、真実を見極められる

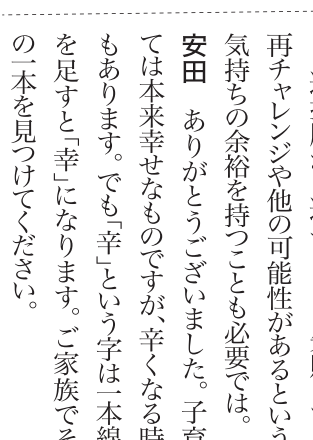
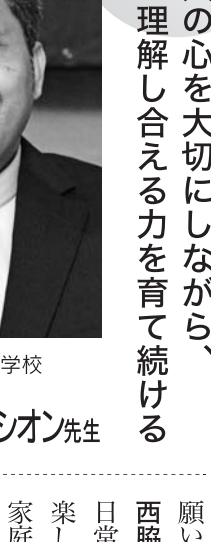
森田 大学入試は教育すべき中身に依りて変わる必要があり。学習指導要領では英語は読む、聞くだけでなく、話す、書くも含めた4技能を育成することとされています。指導と評価の一体化の一環である高大接続改革の結果、大学入試改革です。大きく変わるの2つ。センター試験に代わる共通テストで、英語は読む・聞くに話す・書くを加えた4技能が民間試験の活用で評価されるようになります。高3の4〜12月に民間試験を2回受けその結果を大学に送付します。もうひとつは国語数学での記述式問題の導入です。知識を使う、社会で役立てられることを評価するのがその大きな方向性です。

安田 グローバルリーダーの育成にはどのように取り組んでいますか？

西脇 意識すべきは、地球規模の視点での教育・子育て。考えるべきは、我が子の人生の幸せは何であり、何と共にあるのか。人生の根っことなる世界観形成のひとりの視座が、国際社会が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」です。その理念を誰一人取り残さないのは南山の教育モットーそのもの。それに必要な、違いを認め、新しいことをつくっていく力を学校生活の中で養っています。

森田 本学の考えるグローバルリーダー像は、国際社会として自律し、他利の精神で、国際社会に貢献できる人材。国際人とは、自国の伝統や文化を正しく理解し、異文化を理解・尊重する寛容さを持ち合わせた人です。それに加えてコミュニケーション能力と、ツールとしての英語力に重点を置いていきます。能や狂言、茶道・華道といった伝統文化の学習などから日本文化を理解することを初めの一歩に、道徳の授業にソーシャルスキル・トレーニングを導入し、ネイティブの授業や海外研修も実施しています。

中嶋 リーダーは普通の人のの中に現れ、普通の人とつながり合う人です。そして、本学のスローガンは「勇気ある知識人」ですが、大事なものは勇気、とりわけ事実と向き合い、真実を見極められる



文部科学省初等中等教育局 国際教育課長 小幡泰弘氏

学んだ知識を社会で役立てられ多様性を受容できる教育が必要

小幡 発見や発明は喜びであり、自信になります。その機を奪わないためには、失敗はダメと言わないでください。また、親が姿勢を見せることも大切です。ダシオン 三つ子の魂百までとも言いますが、できるだけ穏やかな雰囲気の中で過ささせてあげてください。子どもとの時間を大切にし、幼少期から小学生までは手を握ったり、抱っこしたり、スキンシップも豊かにしてください。子にとって、家で作る料理を一緒に食べることが宝になり、親の頑張る姿を見てハードルを乗り越えられます。また、学校選びでも声を聞いてほしいと思います。杉山 愛情で満たし個性を認めてあげてください。海外では「みんな違っていい」で自己肯定感が高いです。異なることは悪くはないです。すべての子どもが幸せになるためには、絶対評価ではなく、相対評価でいいです。幼少期には心の満足感を与えてあげてください。小幡 こうでなければいけないではなく、選択肢から選べることを、失敗しても再チャレンジや他の可能性があるという気持ちの余裕を持つことも必要です。安田 ありがとございました。子育ては本来幸せなものです。辛くなる時もあります。でも、辛という字は「本線」を足すと「幸」になります。ご家族でその一本を見つけてください。

中嶋 リーダーは普通の人のの中に現れ、普通の人とつながり合う人です。そして、本学のスローガンは「勇気ある知識人」ですが、大事なものは勇気、とりわけ事実と向き合い、真実を見極められる

森田 大学入試は教育すべき中身に依りて変わる必要があり。学習指導要領では英語は読む、聞くだけでなく、話す、書くも含めた4技能を育成することとされています。指導と評価の一体化の一環である高大接続改革の結果、大学入試改革です。大きく変わるの2つ。センター試験に代わる共通テストで、英語は読む・聞くに話す・書くを加えた4技能が民間試験の活用で評価されるようになります。高3の4〜12月に民間試験を2回受けその結果を大学に送付します。もうひとつは国語数学での記述式問題の導入です。知識を使う、社会で役立てられることを評価するのがその大きな方向性です。

安田 グローバルリーダーの育成にはどのように取り組んでいますか？

西脇 意識すべきは、地球規模の視点での教育・子育て。考えるべきは、我が子の人生の幸せは何であり、何と共にあるのか。人生の根っことなる世界観形成のひとりの視座が、国際社会が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」です。その理念を誰一人取り残さないのは南山の教育モットーそのもの。それに必要な、違いを認め、新しいことをつくっていく力を学校生活の中で養っています。

森田 本学の考えるグローバルリーダー像は、国際社会として自律し、他利の精神で、国際社会に貢献できる人材。国際人とは、自国の伝統や文化を正しく理解し、異文化を理解・尊重する寛容さを持ち合わせた人です。それに加えてコミュニケーション能力と、ツールとしての英語力に重点を置いていきます。能や狂言、茶道・華道といった伝統文化の学習などから日本文化を理解することを初めの一歩に、道徳の授業にソーシャルスキル・トレーニングを導入し、ネイティブの授業や海外研修も実施しています。

中嶋 リーダーは普通の人のの中に現れ、普通の人とつながり合う人です。そして、本学のスローガンは「勇気ある知識人」ですが、大事なものは勇気、とりわけ事実と向き合い、真実を見極められる

